

枯枝とり棒 D.B.Picker

Dead Branch Picker

意匠登録
No.1803636号 ※

※ (株)ネクスコ東日本エンジニアリングとの共同出願

近年、枯れてしまった枝が落下し、事故になるケースが各地で発生しています。

点検時に落下が予見できる枯れ枝を発見しても、高所作業車を準備したり、ツリークライマーを手配するまでは、放置せざるを得ない状況でした。

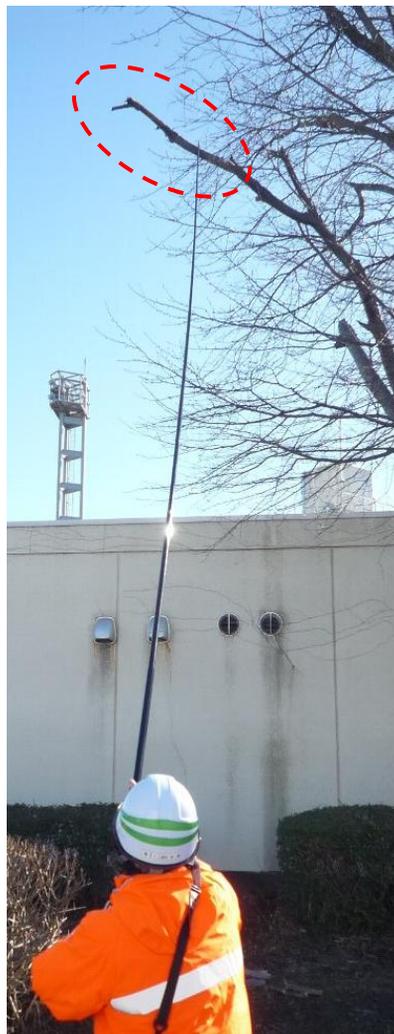
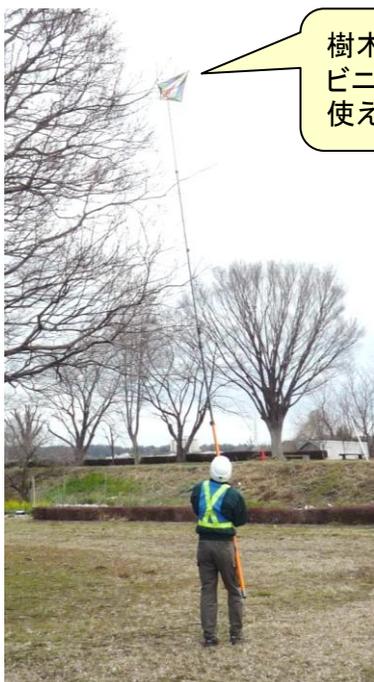
折れて落下したサクラの枝



そこで、発見した点検者がスピーディに枯れ枝を折って除去する作業を行い、樹木下の安全性を確保できるよう、誰でも取り扱いきやすい器具を開発しました。

枯枝とり棒『D.B.Picker』は、立ち枯れたまま落下しそうな枝や、折れて樹木上で引っかかっている枯れ枝を、地上などの安全な場所から取り除く作業を行うための器具です。竿を伸ばすことにより、最大10m先の枯れ枝を対象とすることができます。

樹木に引っ掛かった凧や、ビニール袋などの除去にも使えます。



重さは約1.6kg(キャリングバッグ込みで約1.8kg)と、比較的軽量です。

竿を縮めると、L1330mmコンパクトなサイズで、専用キャリングバッグにより持ち運びが容易です。

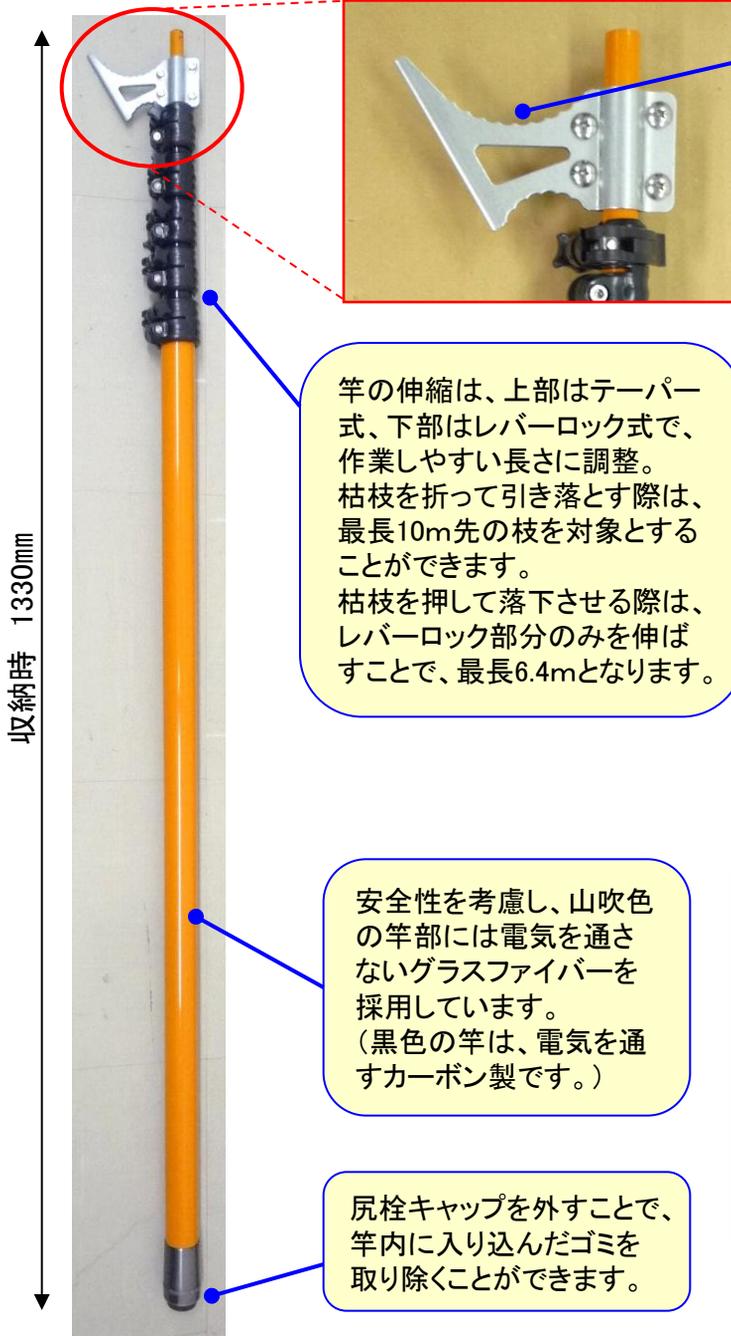


コスト
低減!

従来の除去作業※2回分で済むケースも...

※ 従来の除去作業=作業員3~4名、高所作業車にてチェーンソーによる切断作業

枯枝とり棒 D.B.Picker の特長



先端部は、枯れ枝を押ししたり引っかけたりしやすい形状の金物です。



竿の伸ばし方

- ① レバーを開いてロックを解除します。
- ② 上部から順に、必要な長さまで竿を伸ばします。
(押して落下させる際は、下部から順にレバーロックを解除して伸ばします。)
- ③ レバーを閉じて再びロックします。

竿の伸縮は、上部はテーパ式、下部はレバーロック式で、作業しやすい長さに調整。枯枝を折って引き落とす際は、最長10m先の枝を対象とすることができます。枯枝を押しして落下させる際は、レバーロック部分のみを伸ばすことで、最長6.4mとなります。

安全性を考慮し、山吹色の竿部には電気を通さないグラスファイバーを採用しています。(黒色の竿は、電気を通すカーボン製です。)

尻栓キャップを外すことで、竿内に入り込んだゴミを取り除くことができます。

製品仕様

形状寸法：竿部＝φ15～36mm
先端部＝120×70×17mm
(最大長 約10m)

材質：竿部＝グラスファイバー、カーボン
先端部＝亜鉛メッキ鋼板
レバーロック＝樹脂

収納時寸法：120×70×L1330mm
キャリングバッグ：W176×L1380mm
重量：約1.8kg (本体 約1.6kg)

注意事項

- ・ヘルメットを着用し、樹木下の安全性を確保したうえで使用してください。(落下させる枝の下には立ち入らないでください。)
- ・風が強いときは、竿を伸ばすと煽られることがありますのでご注意ください。
- ・電線等の架空線がある箇所では、使用しないでください。また、竿を伸ばし立てたまま移動しないでください。
- ・先端部の金物は、締め付け確認してからご使用ください。(M5用8mm六角スパナ + プラスドライバー)
- ・必要以上の力を加えて枝を落とそうとすると、先端の金物が外れて落下したり、竿が折れることがありますので、十分にご注意ください。
- ・伸ばした竿を汚れたままの状態で収縮すると、完全に縮まらずにキャリングバッグに納まらなくなったり、再度伸ばすのが困難になることがありますので、汚れを落としてから収縮してください。

※製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

Ver.1.1